

I Love Churui

I ♥ ちゅうるい

11

2018 Vol. 521

平成30年度 全道グ



大石幸男さんが優秀賞受賞!!

11月13日ANAクラウンプラザホテル札幌にて新規就農優良農業経営者表彰式が行われ大石幸男さんが今年度の優秀賞を受賞しました。※写真は表彰式の様子。

<http://www.ja-churui.com>

Contents

農協法公布記念日にあたって	2
第6回南十勝枝肉勉強会	3
平成30年度農事組合長視察研修	4
役員視察研修	6
普及センター技術情報	7
十勝地域総合支援システム	8
JAグループ通信	10
生乳生産状況表	11



農協法公布記念日にあたって

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章



このたびの災害により被害を受けられた皆様ならびにそのご家族の皆様は、心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧・復興へ向けて、JAグループ北海道は組織を挙げて全力で支援に取り組んでまいります。

さて、昭和二十二年十一月十九日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で七十一年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、総合事業を展開しながら今日に至っております。

例えば安全・安心な食品の生産と、豊かな生活に役立つ購買品の供給、地域の豊かな暮らしと経済活動のために寄与する金融事業、総合的な暮らしの保障のための共済事業、健康な日常生活を営むための医療・福祉事業のほか、地域社会に貢献するための様々な社会的取り組みも行なわれております。

地震や風水害による大規模災害が発生した際には、各協同組合が物資の支援、ボランティアの派遣、募金活動等を展開することにより、被災地域の復旧・復興支援に大きな役割を果たしております。

本年九月の災害時にも、組合員・JA・連合会等の間における農業機械・発電機等の融通や、被災地への人的・物的支援、被災地農産物の選果受入など、組織内・外を問わない助け合いの精神による支援活動・行動に対し、敬意とともに、協同組合の力を改めて認識させて頂いたところであります。

このように協同組合は社会と地域の人々の暮らしのために、永

年に亘って多くの分野でその役割を發揮してきています。

そのような中、2016年に「協同組合の思想と実践」がユネスコ無形文化遺産に登録され、更に本年四月には、我が国の農協、漁協、生協、労働金庫、森林組合等の協同組合が、協同組合間の連携によって力を結集し、地域課題の解決を目的として日本協同組合連携機構（JCA）が発足したところであります。

また、第二九回JA北海道大会では、前回大会で設定した将来ビジョンである「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」を継承し、「農業所得の増大と、多様な担い手の確保・育成」と「次代につなげる協同組合の価値と実践」に向けて、JAグループが一体となって取り組むことと致しました。

農業協同組合に集う組合員、役職員の皆様は、このように世界的に評価され、社会的意義のある協同組合の仲間であることを誇りとしながら、協同活動の輪（食と農でつながるサポーター550万人づくり）を広げて頂きたいと考えております。

このことが新自由主義経済への対立軸としての協同組合の存在意義を高め、永年に亘り先人が築き上げた地域農業並びに地域社会の基盤をさらに発展させ、持続可能な農業へと繋がるものと確信しております。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様は夢と希望を持つて営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げます、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。



第6回 南十勝枝肉勉強会 忠類和牛改良組合

十一月十日(土)に北海道畜産公社道東事業所において「第六回南十勝和牛枝肉勉強会」が開催されました。

本勉強会は南十勝4JA和牛組合が持ち回りで実施しており、今年度は広尾町和牛改良組合が主催となり開催されました。

六回目となる今年度は、各町村より計十九頭の出品があり、日頃の和牛肥育生産の成果を競い合いました。

来賓にホクレン畜販課澤田課長、(一社)家畜改良事業団十勝種雄牛センター松原場長、(一



審査講評及び褒賞授与式



優秀賞2席『ふくはな234』

ふくはな234	蛭28の22	名号
雌	去勢	性別
清勝花	芳之国	父
安福久	美津照重	母の父
A5	A4	等級
454	385	枝重
54	50	ローズ芯
9.4	7.1	バラ厚
4.3	2.0	皮下脂肪
73.2	74.0	歩留値
9	8	BMS
4	4	BCS

社)ジェネティクス北海道十勝北見事業所吉田次長をお招きし、審査については、(公財)日本食肉格付協会帯広事業所内山所長に依頼致しました。

忠類からは農ファーストブリングアップ蛭牧場より二頭の出品があり、そのうち一頭が優秀賞2席を獲得致しました。

出品牛の詳細については以下の通りです。

忠類産和牛ハンバーグを地元の小中学校へ提供 忠類和牛改良組合

忠類和牛改良組合(高橋一男組合長)は十一月十九(月)、忠類給食センターから給食を配給されている忠類小・中学校、忠類保育所及び駒島保育所へ忠類産和牛ハンバーグの提供をさせて頂きました。

当日は高橋組合長と蛭原副組合長をはじめ、飯田町長、菅野教育長、宮田給食センター所長らも忠類小学校を訪問し、生徒たちと一緒に給食を頂きました。



おいしいと評判の忠類学校給食

本取組は地元小中学校への食育の一環として実施し、高橋組合長は「牛にはみんなが毎日飲んでいる牛乳を搾ってくれる牛さんと、おいしいお肉になる牛さんがいる。忠類にもおいしい和牛を作っている人たちがいるので、たくさん食べてください。」



忠類小学校の1年生と一緒に給食を食べました

ん感想を聞かせてください。」と挨拶されました。

今年が初めての試みでしたが、ハンバーグを食べてくれた生徒たちは「すごくおいしい!」「また食べてみたい!」との感想が聞かれ、それを聞いた高橋組合長らも「日頃の苦労が報われる瞬間。明日からまた一層頑張れる。」と、仕事への活力となったようです。

今年だけで終わらすことなく、来年以降もできる限り続けていきたい大事な活動だと考えていますので、生産者の方々にはご協力のほどよろしくお願い致します。



平成三十一年度農事組合長会視察研修を実施

十月二十五日から二日間の日程でJA蛭原組合長、農事組合長会（長谷川旭会長）八名でスマート農業の先進地であるオホーツク管内の情勢を学ぶ為北見農試と有機酪農で有名な津別町で管外視察研修を実施しました。

北海道におけるスマート農業の現状と期待される効果について

場所 北見農業試験場

講師 北海道農政部技術普及課

主任普及指導員 山岸修一氏

スマート農業は、GPSを活用した自動走行システムやセンシング技術を活用した作物の精密管理、アシストスーツによる軽労化など、幅広い内容が含まれ、統計では、道内の「販売農家戸数」・「一戸当たりの販売農家人口」が年々減少し、一方で「一戸当たりの平均耕地面積」・「乳牛飼養頭数」は増加。



北海道農政部技術普及課 主任普及指導員 山岸修一氏

これは、農業者の高齢化などにより地域の担い手や大型法人に農地が集約されているもので、この傾向は今後の推計でも続く見込みで規模拡大による人手不足は今後も大きな課題となる。

オホーツク管内は、スマート農業に早い段階から取り組み、急速に進められたが、大型法人が中心で、設置している農家戸数の割合は少なく、現在進めら

れているスマート農業は、自動操舵システムやリモートセンシング技術中心で、この技術を組み合わせた可変施肥技術に期待が寄せられ、この技術は、生育ムラ解消、肥料コストの低減、作物の品質・収量の向上、などが期待できる。しかし、現在実用化、研究段階のものは、畑作・水稲分野であり、粗飼料関連は、研究が進んでいないのが現状。今後は、肥培管理・収穫分野での研究に期待したい。



スマート農業の講義

オーガニック牛乳と粗飼料の生産について



津別町有機酪農研究会 会長 石川賢一氏

場所 石川ファーム

講師 津別町有機酪農研究会

会長 石川賢一氏

平成十一年、乳質が良く、環境保全への意識が高い津別町の酪農家に明治乳業から話しが持ち上がり有機酪農の取り組みが始まる。

平成十二年、町内二十戸の酪農家で有機酪農研究会を設立。粗飼料の有機栽培試験に着手、特に初年度の飼料用とうもろこ



石川牧場での研修

しは草丈が人の腰の高さほどにしか生育せず、慣行栽培の五割程度に減収。有機栽培に適した土作りを模索し、取り組みから三年目に地区平均収量を上回る反収を上げる。

有機JASに適合する購入飼料の選定、脱退者も出るなど試行錯誤を繰り返して、平成十八年、七戸の酪農家が国内初の畜産物の有機JAS認証を取得、待望の「オーガニック牛乳」が製品化し、コープ札幌を皮切りに販売が開始され、首都圏のコンビニエンスストアなど道内外に流通される。

平成二十三年にはイアコーンサイレージの栽培を行い、飼料費の軽減に努めている。同研究会は、数々の取り組みが評価され、農林水産祭農林水産大臣賞、環境保全型農業推進コンクール優秀賞、コープさっぽろ農業賞大賞を受賞。かねてから地産地消に興味のあった研究会は、津別町の協力を得て学校給食でオーガニック牛乳の提供を開始、現在も週一回の割合で続けられている。有機JASでは、搾乳牛の飼養管理のみならず、仔牛の人工乳も給与できないため全乳哺育を行い、乳房炎治療のため抗生物質は認められていないが乾乳軟膏は使用できなめられておらず、乳牛の体調管理には気を配る。

オーガニック飼料の生産とTMRセンターの運営について

場所 津別町TMRセンター

(有会社だいち)

(有)だいちは、平成十二年、農地の流動化、新規就農者対策を



津別町TMRセンター

種・収穫並びに甜菜の移植・収穫作業など畑作部門の受託作業も行っている。

TMRセンター事業としては、平成二十六年十二月に飼料供給を開始。初年度から有機酪農家へも供給を行う。センターの総事業費は、五億六千七万円（農山漁村活性化プロジェクト支援交付金・畜産経営力向上緊急支援事業）一般酪農家四戸と有機酪農家七戸それぞれにTMR飼料を供給しており、有機TMRへのコンタミ防止のため、バンカーサイロやTMR調整に必要な機械、また、これらの作業動線に至るまで製造工程を完全に分けて行われている。有機酪農家は、飼料費軽減のためイアコーンサイレージの栽培に着手、コントラクターを用いて収穫し、TMRの原料として使用している。使用期間は概ね二月から八月。保存方法は、冬期間に使用する原料は、凍結防止のためバンカーサイロで、夏場は、ラップサイレージとして保存している。

担う農協出資法人として設立。

農協出資法人（農地の中間保証）を活用した新規就農対策としては、先駆的な組織で数件の就農実績を持つ。また、津別町は、畑作と酪農・畜産が展開している中山間の農業地帯で、地域全体としては畑作が優勢な地域のため、コントラクター事業では、粗飼料収穫作業や堆肥散布の他、加工用馬鈴しょの播



役員道内視察研修を実施

平成三十年十一月十三日～十四日にかけてJA忠類役員道内視察研修を実施致しました。

第二十九回JA北海道大会

JA北海道中央会中央会会長を大会長に各連合会役員、各地区組合長会長・青年部・女性部の全道組織会長が大会運営委員となり、三年に一度全道のJA関係者が集結し三年間のJA組織の基本運営方針を大会決議を通して、組合員・JA・連合会・中央会がそれぞれの役割を再確認することを目的とした大会となっている。今回の第二十九回北海道大会では前回大会で決議した将来ビジョンや基本目標・実践



全道から約2400名が参加しました!



方策である「農業所得20%増大」「サポーター550万人づくり」は、改革プランの実践期間や一連の農協改革の動きが継続中であることを踏まえて継承しつつ、重要性を増す「協同組合の価値と実践」を新たな決議事項として加えることとなった。JAグループ北海道が農業・JAをめぐる情勢変化や喫緊の課題へ対応し、将来ビジョンを実現するため①グループ全体で取り組むべき重要課題や重点取組事項を示すこと②グループ内で課題認識を共有し、目指すべき方向性に対する意識・目標を合わせることが目的とする大会と位置づけた。今大会では第一号議案として協同の力で「農業所得の増大」と

「多様な担い手の確保・育成」の実現、第二号議案として時代につなげる協同組合の価値と実践に向け、結果することを誓いました。

北海道警察本部視察

北海道警察本部では通信司令室、交通管理センターを見学させていただきました。通信司令室では全道六十六カ所の警察署を五カ所の司令室で管轄しており、110番の入電は全道平均で千件/日、札幌方面平均では七百件/日となっております。胆振東部地震の際には、全道で四千二百件の入電となりました。外国人からの通報は通訳センターとの三者通話で対応している。交通管理センターでは全道一万二千基の信号を管理しており、円滑な交通のため渋滞や歩行者の往来状況を確認し信号機をコントロールしていました。



道警本部にて通信司令室を見学

お天気カレンダー

気象予報士(株式会社ハレックス) ● 檜山靖洋

屋根に力士300人?

日本海側の山沿いでは、冬には雪下ろしを頻繁にしないとイケません。寒い冬になり雪が多い年はいっそう大変です。

新雪のサラサラ雪でも、1立方mで100kgの重さがあります。10m四方の屋根の家には10トンの重さがかかります。雪は時間とともに重さが増し、同じ1立方mの雪でも、ざらめ雪になると最大500kgにもなります。10m四方の屋根の上には50トンの重さになります。力士1人の体重が150kgとすると、普通の家の屋根の上には300人以上の力士が乗っているのと同じです。この重さが屋根や柱にかかり、家が倒壊する恐れもあります。このため、雪下ろしを小まめにする必要があります。

雪下ろし作業は危険を伴いますので、必ず複数人で、命綱を着け、ヘルメットをかぶるなどの安全対策を行いましょ。



「雪割り」・「雪踏み」技術による畑地の生産性向上の事例紹介

十勝管内で普及した雪割りによる野良イモ対策技術が発展し、土壤凍結深の制御が畑作物の生産性に有効な事が明らかになってい

ます。今回はその試験成績を紹介しま

土壤凍結促進が作物生産性に与える効果

農業試験場の試験結果では、凍結深30cm程度の土壤凍結を行った場合、大豆、スイートコーン、タマネギの収量は向上しました。

(表1…農試試験)

また生産者の圃場でも、同様の効果が得られる事が実証されました。これは土壤凍結によって窒素の流出が抑制され、土壤の碎土性や透水性、保水性などの物理性が改善する事によるものと考えられます。

(表1…現地実証試験)

技術の適用地域と留意点

この技術は、当地域のように12

月～2月の平均気温がマイナス5℃以下の地域に適用できます。

留意点としては次の通りです。

① 窒素の多用をしない。

これを行うと効果が発現しにくくだけでなく、てんさいの糖分やばれいしよのでん粉価などの品質低下を招きます。

また軟腐病の発生を助長するなどの弊害を招く恐れがあります。

北海道施肥ガイドを参考に、地力に応じた適正施肥を行います。

② 過剰凍結させない。

実施する場合は、30cm～40cmを目安にしましょう。

凍結が深くなりすぎると融雪後の地温上昇と土壤の乾きが遅れて効果が不安定になります。

※(前・道総研北見農業試験場 研究部生産環境グループ公開データより抜粋)

表1 土壤凍結促進が作物生産性に与える効果

試験地区	作物	窒素施肥量 (kg/10a)	試験区	最大凍結深 (cm)	融雪後無機態窒素N (cm)	収量比 平均 (最小-最大)
農試	大豆	1.8	無処理	8 ± 4	3.7 ± 0.7	100
			凍結促進	38 ± 11	7.3 ± 2.5	110** (106-116)
	直播てん菜	18	無処理	11 ± 8	5.8 ± 4.2	100
			凍結促進	32 ± 3	6.8 ± 3.4	99 (93-109)
	スイートコーン	12	無処理	8 ± 4	3.7 ± 0.7	100
			凍結促進	38 ± 11	7.3 ± 2.5	109* (105-110)
移植タマネギ	13	無処理	11 ± 9	3.2 ± 0.2	100	
		凍結促進	36 ± 2	4.0 ± 0.7	109* (102-113)	
現地実証	大豆	1.6	無処理	5	2.6	100
			凍結促進	38	4.4	105
	移植てん菜	19.8	無処理	19 ± 9	5.2 ± 2.5	100
			凍結促進	32 ± 3	9.8 ± 8.3	113** (111-114)
	移植タマネギ	19.8	無処理	11 ± 6	5.8 ± 0.7	100
			凍結促進	33 ± 2	6.3 ± 0.4	103* (100-108)
	晩春まきニンジン	10.3	無処理	23 ± 0	3.4 ± 0.4	100
			凍結促進	33 ± 3	4.4 ± 0.5	114** (112-116)
生食用馬鈴しょ	4.7	無処理	4	3.6	100	
		凍結促進	38	5.1	107	

注1) 凍結促進区：農試試験は短期除雪区の3カ年の結果、現地実証試験は最大凍結深30～40cmの試験地の結果をそれぞれ平均値で示した
 現地実証試験では雪踏み、雪割り、除雪を単用もしくは併用し、処理期間の長短で凍結深を制御
 注2) 融雪後無機態N：てん菜は0～60cm土層、他作物は0～40cm土層の無機態窒素量
 注3) 収量：大豆・スイートコーンは総収量、てん菜は糖量、タマネギ・ニンジン・馬鈴しょは規格内収量



『十勝地域組合員総合支援システム』

《TAFシステム》

パソコンやスマホで組勘の残高確認や各種報告、生産性向上のための営農情報確認をしてみませんか？



※今までJAに報告した内容を改めて入力や登録する必要はありません。
※本システム利用料は無料です。

画面イメージ

十勝地域組合員総合支援システム
～ Tokachi total Assistance system for Farmers ～

農産 太郎 さんでログイン中
スマートフォンメニューへ

今日の天気 晴
帯広
曇り後晴れ
20.8 / 9.6
降水量: 0.0 mm

個別農場情報	農産物生産履歴	土壌分析結果照会	飼料分析結果照会	FAXお知らせ(一般)	ログアウト
GAPチェック	乳温遠隔監視	てん蔵			設定 従業員 マニュアル

日	12(水)	13(木)							14(金)														
時刻	11時	12時	13時	14時	15時	16時	18時	21時	0時	3時	6時	9時	12時	15時	18時	21時	0時	3時	6時	9時	12時	15時	
天気	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
気温(℃)	19.3	20.3	20.8	20.7	20.1	19.2	16.0	13.0	11.0	10.0	10.0	15.0	21.0	22.0	18.0	16.0	14.0	14.0	15.0				
降水量(mm)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

No.	配信日時	帳票名	区分
45815	2018/09/10 14:56:16	TAFホームへ追加方法	既読
45813	2018/09/10 14:56:14	サファリPW記憶方法	未読
45717	2018/09/10 14:56:11	支援システム読書リーフレット	既読

No.	配信日時	帳票名	区分
1110	2018/09/12 10:37:17	農業気象情報【ひまわり産産簿】	未読
1112	2018/09/12 10:21:07	農業気象情報【メッシュ降水量予測】	未読
1108	2018/09/12 09:54:46	農業気象情報【台風情報】	未読
1111	2018/09/12 09:21:12	農業気象情報【天気回・天気+予測】	未読
1101	2018/09/12 05:03:06	農業気象【短期・帯広】	未読
1105	2018/09/12 05:00:47	農業気象情報【短期+運糧】	未読

十勝地域組合員総合支援システム
～ Tokachi total Assistance system for Farmers ～

設定 マニュアル ログアウト

農産 太郎 さんでログイン中

個別農場情報	農産物生産履歴	土壌分析結果照会
飼料分析結果照会	FAXお知らせ(一般)	GAPチェック
乳温遠隔監視	酪畜履歴	てん蔵

今日の天気 晴
帯広
雨
26.7 / 19.1
降水量: 22.9 mm

No.	配信日時	帳票名	区分
45726	2018/09/22 14:37:01	サファリPW記憶方法	既読
45724	2018/09/22 14:36:02	TAFホームへ追加方法	既読

パソコン画面

スマホ画面

- 個別農場情報 : 組勘残高や取引明細を確認できます
- 農産物生産履歴 : 生産履歴の記帳や提出、農薬情報の検索ができます
- 土壌・飼料分析結果照会 : 土壌・飼料分析結果をPDFで確認できます
- FAXお知らせ(一般) : JAからのFAX文書をPDFで確認できます
- GAPチェック : GAPチェックリストの管理や記入ができます
- 乳温遠隔監視 : 乳温情報やエラーの確認ができます
- 酪畜履歴 : 出生等の報告、繁殖管理情報等の確認ができます
- てん蔵 : 気象情報を確認できます

下記にお問い合わせの上、ぜひご利用下さい！！

問合せ先：忠類農協営農部経営課 01558-8-2314



JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

11月13日、JAグループ北海道

の役員はじめ約2,400名が参加し、

「第29回JA北海道大会」を開催しました。

大会では、将来ビジョン「北海道550万人

と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力あ

る農村」の実現を継承し、重要性を増す

「協同組合の価値と実践」を決議しました。

協同の力と総合力を発揮し、一丸となって決

議事項の実践を通じた自

己改革に取り組みます。

決議事項の実践内容や

農業・JA・協同組合の

意義や価値の発信によ

り、北海道550万人か

ら信頼されるJAグルー

プ北海道を目指します。



JA北海道信連

9月に、札幌市において、小学生が社会の仕組みを学ぶ職業体験イベント「ミニさつぼろ」が開催され、JAバンク北海道では金融機関という役割で参加しました。

JAバンクでは、お金の数え方の練習やお仕事体験した子へお給料を支払う仕事を体験してもらい、中には「お金持ちになつたみたい」とお札の束を広げる子も…。

未来のサポーターづくりへ、来年以降も参加していきたいと思えます。



ホクレン

北海道の味覚を一堂に集め

た毎年恒例秋のイベント「2018第47回ホクレン

大収穫祭」を札幌三越本館で開催しました。今年

はJA北海道女性協議会の「私の心を込めた農畜

産物おむすび」とJA

北海道農協青年部協

会の「農業クイズ」など

の生産者参加イベントも

行われ、大収穫祭を盛り

上げ、連日、どの売り場

も秋の味覚を求める

人々で大盛況でした。



JA共済連北海道

10月27日(土)にANAクラウン

ラザホテル札幌にて、第45回目となる「平成30年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」の表彰式を開催しました。全道より4,342点の応募をいただいた中から金賞9作品が選出され、受賞されたみなさんが表彰されました。

今回受賞された作品は、さつぼろ雪まつり会場・道庁ホールでの展示等が予定されており。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生

命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推

進を図ることを目的とし

て、広報誌「すまいる」

を発行しております。

年3回発行しており、

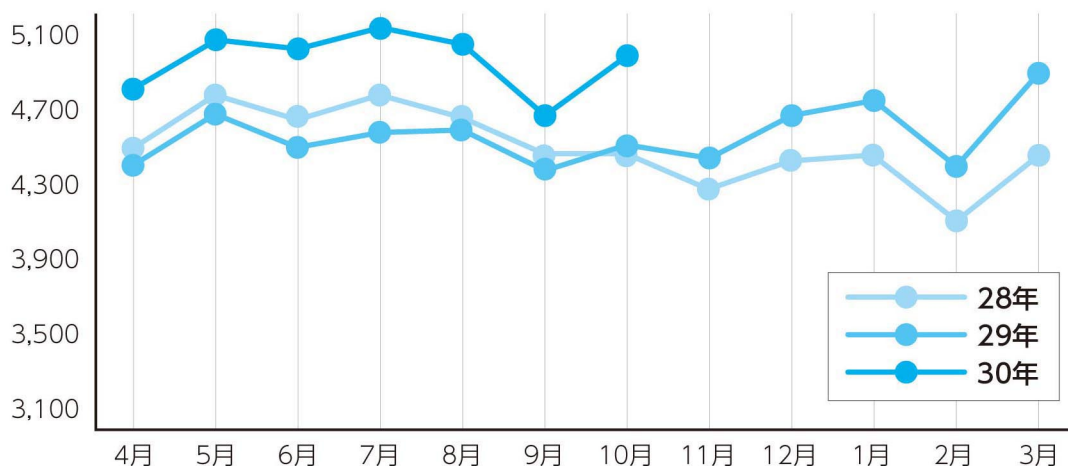
様々な医療・健康情報を

発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



生乳生産状況表



ホクレン十勝家畜市場だより



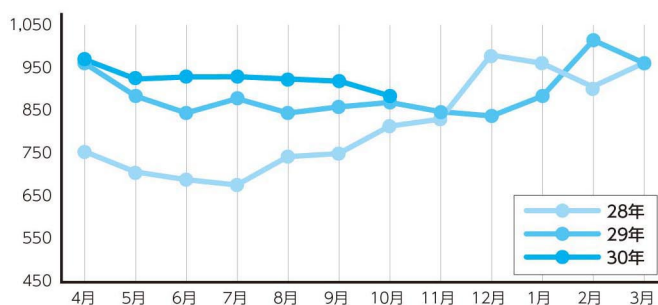
乳牛

- 売買頭数：639頭 (成立75.3%)
- 平均価格 (税込)：871千円 (先月比↓39、前年比↑11)

相場予想

先月の平均価格は高値警戒感による府県の購買意欲の低下から弱含みで推移しました。今月は購買意欲が高く、平均価格は、横ばいあるいは強含みで推移すると予想されます。

乳牛市場〈初妊牛〉平均価格の推移



黒毛和種・F1

結果速報

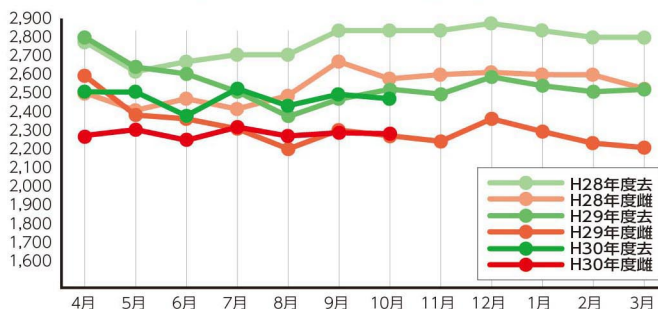
● 売買頭数

- 黒毛和種去勢 **849頭** (成立93.6%)
- 乳用交雑種去勢 **1,056頭** (成立95.7%)
- 黒毛和種雌 **587頭** (成立95.3%)
- 乳用交雑種雌 **1,085頭** (成立98.4%)

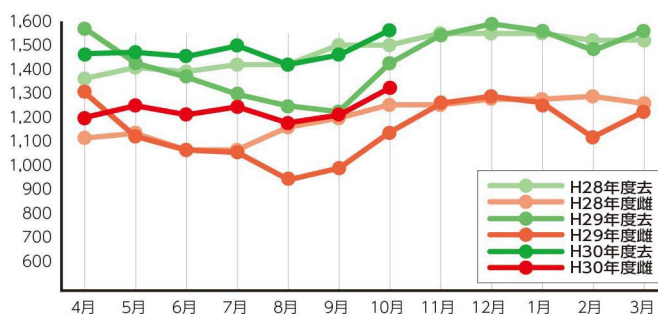
● kg単価

- 黒毛和種去勢 **2,456円** (先月比 ↓ 25)
- 乳用交雑種去勢 **1,553円** (先月比 ↑ 96)
- 黒毛和種雌 **2,274円** (先月比 ↓ 25)
- 乳用交雑種雌 **1,309円** (先月比 ↑ 82)

肉牛市場〈黒毛和種251-300kg〉kg単価推移



肉牛市場〈F1〉kg単価推移





人身傷害保障にご加入の皆様へ 無制限保障のご提案



そもそも、人身傷害保障って何？

被共済者が被共済自動車もしくは被共済自動車以外の自動車に搭乗中または歩行中に、自動車事故によって死亡したり負傷したときの損害を保障するものです。治療関係費、休業による損害、精神的損害など実際にかかった損害額を保障します。

1. 相手の方からももらえないご自身の落ち度の割合分の保障

過失割合に関係なく、ご契約金額の範囲内で、共済約款において定めた基準に従い共済金をお支払いします。

2. 単独の事故の場合の保障

運転中に電柱やガードレールに衝突した場合など、どこからも保障されない場合でも保障いたします。



3. ご自身やご家族の歩行中の事故についての保障

ご自身やご家族の方がお車に乗っているときだけではなく、歩行中や自転車に乗っているときの交通事故も保障いたします。



ご加入金額の見直しをご検討ください

道内での事故において、人身傷害保障のご加入金額が不足し、十分な共済金をお支払いできないケースが発生しております。

ご自身・ご家族が万一の事故に遭われた場合に、十分な保障をご提供させていただくためにもご加入共済金額の見直しをご検討ください。

事故・共済金支払事例

<事故状況>

40代男性がトラクター連結作業機内の異物を取ろうとしたときに腕を巻き込まれ大けがを負う。治療の結果、右腕を肘関節以上で切断することとなる。

<自動車共済でのお支払内容>

自動車共済の人身傷害保障5,000万円に加入していたため、共済金の支払対象となる。

人身傷害における逸失利益や精神的損害などの認定額の合計は約9,730万円となるが、ご契約金額上限の5,000万円をお支払いし、**差額の4,730万円は自己負担**となる。

<人身傷害保障認定額>

- 治療費・休業損害：約 700 万円
- 逸失利益：約 8,080 万円
- 精神的損害：約 950 万円
- 認定額合計：約 9,730 万円

○ 支払共済金額： 5,000 万円

▲ 自己負担額：約 4,730 万円

対人・対物賠償保障と同じように ご自身・ご家族の保障も無制限にしませんか？

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際は、「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

※平成30年4月現在

<18019990019>

お問い合わせは

JA忠類 金融部 金融共済課 Tel (01558) 8-2311

